



第 94 回企画展

いわてのりんご 150 年

～西洋りんご栽培のはじまりから明治時代のりんご栽培を振り返る～



明治 20 年代とされるりんご柳玉種^{りゅうぎょく}の樹 中野村(現盛岡市中野)

令和 7 年 6 月 6 日 (金) ～ 10 月 5 日 (日)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

岩手県におけるりんご栽培は、明治5年に横浜慶行氏らによって植栽されたのが始まりとされており、今年で153年を迎えることになりました。この間、時代の趨勢に応じて、幾多の変遷をたどり、その時代におけるりんご栽培の工夫や技術開発、栽培技術の改善、薬剤防除の進展、生産手段の合理化、優良品種の開発、わい化栽培の導入、集団栽培や法人化など新たな生産体制の確立、貯蔵方法や包装技術の改善、選別作業の機械化など、この150年の間の技術や生産体制の躍進は目覚ましいものがあります。今では栽培面積で全国第3位を誇る産地となり、岩手県の農業粗生産額においても上位を占めています。

今回は、岩手県政150年に合わせて、日本における西洋りんご導入以前のりんごの紹介とともに、岩手県における西洋りんご栽培のはじまりから明治時代のりんご栽培の状況を中心として、今日に至るまでの歴史を紹介します。



『巖手林檎栽培事蹟』
(明治36年発刊)



こうぎょく
紅玉



こうこう
國光

東中野村（盛岡市中野）見石
瀬山陽吉園



岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

北上市飯豊3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間：水曜日～日曜日(月曜日が祝日の場合は開館) 9:00～16:30(入館16:00まで)

休館日：月・火曜日(月曜日が祝日の場合は直後の水曜日)

入館料：一般320円 学生150円 高校生以下は無料 団体割引(20名以上)あり

障害者手帳などの交付を受けている方及び介護サービス事業などで入館される方は
入館料が無料

駐車場：大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台